

【住民参加企画】

まちのこえ



～広報広聴委員が聞く～

札内農協旧あかしや店で5月から11月までの毎週土・日曜日開催されている「ファーマーズマーケットあかしや」は、札内で採れた季節の野菜を中心に販売されています。今回、実行委員会の三人からお話を伺いました。



左から松田勝副委員長、関口栄三委員長、松田光幸副委員長

◆はじめられたきっかけは？

◇札内地区は古くから野菜作りが盛んで品数も豊富です。そこで札内農協さんから、野菜販売に取り組んではとの声掛けがきっかけではじまり、現在は野菜、畑作、花卉、肉牛生産者30名の実行委員で運営を行っています。

◆お店の特徴は？

◇生産者自ら商品の陳列や来客対応を行い、消費者との交流を大切に販売することです。生産者が店頭に立ち来店客へ商品の特徴や調理方法など説明にあたります。

◆商品の特徴について？

◇「地産地消」をスローガンに地元産の旬の野菜が基本です。秋になると漬物用、越冬用の野菜が中心に販売され、十勝管内はもとより遠くは釧路からも来店いただいています。また農家のお母さん手作りの漬物、和牛ハンバーグなどの加工品も販売しています。



賑わっている店内の様子

◆今後の抱負は？

◇この販売所は、会員の相互理解と新鮮な野菜を通じ消費者の方々との間に築かれた信頼関係で成り立っています。営業日を増やすことなどは難しいですが、これからも多くの皆さんに支持されるお店作りに努めていきます。また若い生産者の皆さんと今後について考えていくことも必要なことと思います。

◆議会に望むことは？

◇議会だよりは良く見ています。とくに一般質問は興味を持って読んでいます。幕別町の基幹産業といわれる農業は畑作をはじめ野菜、畜産、酪農と多岐に展開しています。その中において野菜は他と比べ補助事業などがほとんどない現状にあります。後継者を育てるためにも、町はもとより国、道に要請をしてほしい。

(聞き手 寺林俊幸 田口廣之)

編集後記

議会だよりを最後までご覧いただきありがとうございます。幕別町と忠類村が合併してから10年の節目を迎えます。均衡ある発展と一体感の醸成。醸成と言えば「マッサン」ニッカウキスキー創業者竹鶴政孝を描く連ドラが面白い。ウイスキーの熟成は最低で3年、10年経ってもまだまだ若いらしい。新町10年醸成もこれから更に濃厚に熟成してほしい。そこで、寒い夜は町の発展を願いホットウイスキーで暖まるのはどうだろうか。

藤谷謹至

議会広報広聴委員会

委員長 芳滝 仁 副委員長 寺林俊幸

委員 東口隆弘 藤谷謹至 岡本眞利子 藤原 孟 田口廣之 野原恵子 増田武夫

○お知らせ 図書館で会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。